

福祉サービス第三者評価総合コメント

特に力を入れて取り組んでいること
各種の計画が着実に実行できる体制が整っている 法人として中長期の事業計画を策定しており、それをもとに園としての課題を踏まえた中長期計画を策定し、単年度事業計画をはじめ保育目標を実現するために、全体的な計画、年間指導計画、年間食育計画、保健計画などを策定している。それらをベースに保育を実践し、期、月、週毎の単位で振り返りを行い、PDCAのサイクルを継続して恒常的に見直しに取り組んでいる。また、児童票、個別月案等で個々の成長発達を確認するしくみも整っている。円滑に実施できるように職員体制、職務分掌、行事の係分担、各運営における係の役割分担なども明示している。
職員間のコミュニケーションが適切に図られていることがうかがえる 職員の離職が少ないことから、継続的保育や考え方が定着しつつある。法人として嘱託医や臨床心理士による相談窓口を設けたり、園では有給休暇の取得促進や時間外労働の削減に取り組むなど、職員の心身の状況を把握し勤務調整に取り組んでいる。園全体でフォローする体制が整っており、職員の円滑なコミュニケーションにつながっている。職員間の良好な関係は、子どもや保護者にも好影響を与えていることがうかがえる。
子ども自身が興味のある遊び、好きな遊びを選び、友だちと遊びを工夫して楽しめる環境を整えている 各保育室では発達に合った遊びや玩具をいくつか用意し、子どもたちが自分で選択できるようにしたり、絵本や製作などさまざまなコーナーを工夫し、それぞれの遊びに集中できるように環境を整えている。家具やピアノにも手作りの衝立を立てて安心感のあるレイアウト環境となるように配慮している。さらに図鑑なども常に読めるように配置することで自ら興味を持ったり、調べたりするなど、いきいきと活動できるよう援助している。
子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やケガを予防・防止できるように援助している 「虫歯予防デー」や「救急の日」に合わせて、虫歯予防や応急処置の方法についてクイズ形式で伝え、興味を引きながら学びを深めている。また、夏の水遊びの前には、「プライベートゾーン」についての話をし自分の体の大切さを伝えている。さらに、年齢に応じて救急車の呼び方や心臓の仕組みなども説明し、実際に聴診器を使って自分の心音を聞く体験を通じて、健康意識の向上を図っている。
さらに取り組みが望まれるところ
保育理念や保育方針、保育目標などの保護者や職員へのさらなる浸透を目指されたい 職員は入職時に保育理念の研修を受講し、法人の目指している保育の理解を促している。さらに、全体的な計画や年間保育指導計画には保育方針や保育目標を明記し、職員会議等で保育実践の振り返る機会なども設けている。保護者には入園時に重要事項説明書を配付し、そのなかで保育理念や保育方針、保育目標などを説明している。ただし、園ではさらに、保護者や職員への浸透を図る必要性を認識していることを踏まえ、具体的な取り組みを早期に開始することが望まれる。
リスクマネジメントをさらに強化することが望まれる 法人の「保育ガイド」が整備され、安全管理や事故防止、感染症対策などのリスク対策について明記されている。災害や深刻な事故に遭遇した場合に備え、事業継続計画が作成されている。地震や火災からの避難を優先順位の高いリスクとして毎月避難訓練を実施している。リスク対策をさらに強化するため、事業継続計画の読み合せや机上訓練、救命救急講習の頻回実施、アクシデントにおける再発防止策の検証など、さらなる取り組みを期待したい。
地域資源の活用や地域における子育て支援の取り組みが望まれる 船橋市の交通安全教室や警察署の指導による不審者対応訓練、就学前に近隣の小学校の見学として学校探検などを行い交流を図っている。保護者には園見学の際に離乳食の質問や育児相談などに対応し、入園だけではなく子育て支援にもつながるよう努めている。今後はさらに地域資源を活用した取り組みや、保護者に対しての子育て支援などが望まれる。

（評価を受けて、受審事業者の取組み）

第三者評価を受審することで自分たちでは、気づきにくい部分を知る機会となりました。保護者アンケートの回答で園の改善点については、保育を振り返り、子どもたちへの接し方について職員会議や研修で伝えたり学んだりしました。改善を求められている点が明確になったと思います。訪問調査では具体的な改善点、運営に対するアドバイスは、意義のある内容でした。保護者からいただいた、ご意見は大きな励みになりました。また、改善点や説明が必要な内容については今後、対応して行きます。